

戦後70年、「水木しげる展」で戦争の悲惨さを訴える！

戦後70年の夏、戦争の悲惨さや平和の大切さを訴える展示や講演会が全国各地で開催されている。調布でも戦争体験を風化させないために、市制施行60周年の平和祈念事業として数多くの企画が予定されている。その中で注目を集めているのが8月6日から9月13日までたづくり1階展示室で開催される「水木しげるの戦争と新聞報道展」(主催は公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団と調布市)。代表作「ゲゲゲの鬼太郎」でおなじみの漫画家で調布の名誉市民である水木しげるさんの戦争体験を元に描かれた作品と当時の新聞報道の数々が展示される。「市では毎年、平和祈念事業を行っています。今年は戦後70年、市制施行60周年という“節目の年”なので、市にゆかりのある水木しげる展を企画しました。展示される原画は戦争体験がリアルに描かれており、絵を通じて戦争の悲惨さをわかってもらいたい」と、市の文化振興課の担当者は話す。

新潮社発行の雑誌「新潮」8月号に「新発見 水木しげる出征前手記」が掲載されている。昭和17年10月から11月にかけて書かれたもので、その中で「毎日五萬も十萬も戦死する時代だ。芸術が何んだ哲学が何んだ。今は考へる事すらゆるされない時代だ。画家だらうと哲学者だらうと文学者だらうと労働者だらうと、土色一色にぬられて死場へ送られる時代だ。人を一塊の土くれにする時代だ」(原文のまま)とある。ゲーテやニーチェにも造詣の深い水木しげるさんらしい手記である。水木さんは陸軍に召集され南方の激戦地ニューブリテン島へ送られたが、ここでの戦争体験を描いた漫画「総員玉砕せよ！」や「ラバウル戦記」などの原画が約30点展示される。

市は今年初めて、広島での平和祈念式典に参加するために、市内の中学生15名を8月5日～7日にかけて広島に派遣する。安保法案が参院で審議される中で、こうした事業が平和を見つめ直す機会になることを期待している。(大泉洋一)

【トピックス】第97回全国高校野球選手権大会に西東京代表として早稲田実業高校が決定

監督の和泉実氏は、調布市在住。今注目の清宮幸太郎選手は、今年野球殿堂入りした故林和男氏が作った調布シニア出身。外野手の渡辺大地選手は、調布三中出身と調布に縁が深い。是非頑張ってもらいたい！

応援しよう！スポーツ in 調布

FC東京 2 ST STAGE 勝点7 順位9位(7/29現在)
総合 勝点42 順位3位(7/29現在)

8月16日(日)18:00 VS ガンバ大阪 @味の素スタジアム

LIXIL DEERS(リクシル ディアーズ)：調布の7月7日

◆今後の試合・イベント情報

2015年度Xリーグ秋季公式戦 1st Stage

8月30日(日)17:00 vs アサヒビールシルバースター
@富士通スタジアム川崎

◆地元チーム LIXIL DEERS リクシルディアーズを応援しましょう！

東京サンレーヴス：調布にあるがスゲー！開幕戦ホーム決定

10月2日(金)19:00～ } VS 新潟アルビレックスBB
10月3日(土)14:00～ } @エスフォルタアリーナ八王子

大相撲7月場所結果 4勝3敗

坪見 序二段西十一枚目



FC 東京応援記

2ステージが始まった。川崎フロンターレとの多摩川クラシコは完敗(>・<)初戦から精神的にも躓いてしまった。続く新潟戦は3-1で快勝したものの、中3日の山形戦は0-0のドロー。梶山、高橋、太田が負傷。得に梶山は重症だ。しかし、相手を退場にさせる程のファールを冒しているのに何故カードが出ないのだろう。去年の平山の離脱の時もそうだった。チームはもっと強く抗議すべきではないか…。身最良な事は承知しているが今年は審判に泣かされる。続く鹿島戦は太田に代わって丸山が左サイド。高橋と米本がダブルボランチを組み、河野が先発に復帰した。ネイサンバーズの新ゴールはあったが1-2と敗れ早くも2敗目。7月最後の29日仙台戦は太田が復帰即アシストを決め、前田の2ゴールもあって3-1と快勝。う～ん、勝点7とスタートダッシュは失敗だ。年間順位を見れば3位をキープ。1st王者の浦和がまさかの失速だけに、この躓きはイタかった。

8月は代表の公式戦があるので12日までリーグは中断。東京はドイツに遠征しアイントラハイト・フランクフルトと親善試合です。ここで経験と英気を養って反撃の月としたいものです。(日比生)



文豪たちの戦争

文豪・森鷗外、夏目漱石は、明治時代にあった二つの戦争を経験している。特に鷗外は日清、日露の戦いに陸軍軍医として従軍し、経験した戦争の様子を日記、短歌、俳句、新体詩などに残している。代表的なものとしては戦場で失った軍服の袖のボタンにドイツ留学時代の想い出を詠んだ「扣鈕(ぼたん)」、あるいは「石田治作」という鷗外の従者の歩兵が旅順の戦いで、塹壕で敵将校と相対し、その将校を捕虜とするまでを詠んだ詩などがよく知られている。

夏目漱石には『趣味の遺伝』という作品がある。この作品は日露戦争終了後の、明治三十九年に発表されたもの。その内容は、漱石と思しき「余」が、東京・新橋に来ると、日露戦争の凱旋に立ち会うことになる。そこではまず「一人の将軍が拳手の礼を施しながら余の前を通り過ぎた。色の焦けた、胡麻塩髭の小作りな人である」、こう表現された将軍乃木希典を見る。そして漱石は、旅順で戦死した親友の「浩さん」の死の様子を想像しながら書いている。「蟻のように敵の塁壁に向かう多くの兵の一人の浩さんは、塹壕に飛び込み上つて来ない。いくら上がりたくても、手足が利かなくては上がれぬ。眼が暗んでは上がれぬ。胸に穴が開いては上がれぬ。血が通わなくなっても、身体が棒のように鯨張っても上がる事は出来ん」とリアルな描写が続く作品である。

明治政府ができて以来、右のように日清戦争、日露戦争、そして「第二次世界大戦(太平洋戦争)」と戦争が続いた。今年には戦後70年を迎えるが、考えてみれば、日本歴史において七〇年もの戦争のない時代が続いたことは、江戸時代を除いておそろくなかったのではないか。昭和二〇年の終戦以来、今日までのような長い平和の時代はなかったのである。(杉浦俊之)



調布の話

村名は、文字を捨て呼び名を残した賢者の知恵

調布の地名がいつ頃から云われ出したのかは、まだはっきりしない。1889年(明治22)の明治政府による「市町村制」施行によって、以前あった布田五宿の村々を行政的に一つの町にしたとあり、その時に「調布」の文字が登場したとされるが、それ以前にも「調布」が使われた痕跡もある。

もう一つの「神代村」の誕生も市町村制によって下仙川、入間、大町、金子、柴崎、佐須と深大寺村の七ヶ村が集まって出来た村である。しかし七つの村々が一つの村になるのであるから、新村名に議論沸騰。一番大きな深大寺村の賢者が「深大寺の文字を捨て、呼び名にジンダイを残そう。そのジンダイは万葉集の「神代」から取った事にすれば、まとまるだろう」との提案で七ヶ村の会合で確認したとの伝承がある。この時代、各地で万葉集から村町名を付けた所も多い。(郷土史家 古橋研一)

オルセー美術館が晃華学園に！

市内佐須町にある晃華学園中・高等学校内で1日から9日まで「オルセースクールミュージアム」が開催されている。フランス国立オルセー美術館に展示されているミレー、モネ、ルノアール、セザンヌ、ゴッホ、ゴーギャンといった印象派の作品のリマスターアート展である。リマスターアートとは最新のデジタル技術とコンピュータ技術を駆使した超高精細復原作品で、筆さばきや絵の具の凹凸まで忠実に再現されている。今回は27作品が展示される。

ミレーの「落ち穂拾い」、モネの「日傘の女(左向き)、ルノアールの「ムーラン・ド・ラ・ギャレット」、ゴッホの「自画像」など我々に馴染みのある作品が多い。

「2か所の特設ステージで展示して、生徒や近隣の皆さん方に、美の世界に触れてもらい、創造する心や美を求める心を持って欲しい」と、学校の担当者は語る。

オルセー美術館の名作が至近距離で見られ、撮影や模写も自由とのこと。

開館時間は午前10時から午後5時。

大人500円。高校生以下無料。

◆9月1日から本局でテレビ放映予定

借り物でおそろおそろ スタートした実験店

調布駅南で子どもと一緒にくつろげるカフェ「aona」を運営している杉山裕子です。276平方メートルある広々としたお店は天然木の板張り。この時季、子どもたちは「靴下いらな〜い」と素足を楽しんでいます。この店ができるまでのことです。野川近くの空き店舗を好条件でお借りして、実験店「ちょこカフェ」の運営をはじめました。野菜の直売所から新鮮野菜を安く仕入れ、メンバーから使っていない食器を借り、ボランティアで店番を担当してくれる人を募りました。子育て中の方が多いこともあり、一人が担当するのは3時間単位で週1-3回。最初はコーヒーだけそーっと出してみたのですが、市場の材料で食事提供をスタート。さあ、宣伝開始です。フェイスブックページを作り、地域の各メディアが取り上げてくださったほか、NHKさんまでが取り上げてくださいました。ポチポチと知ってくださる人が増え、友達に聞いたと来てくれる人も増えました。そんなある日、店に行列ができる事件がありました。

(aona 店長杉山裕子さん寄稿)

～こんなご協力をいただいています～

機材等：(株)アークシステム、アツデン(株)、(株)Studio DU サーバー：電気通信大学 撮影協力：(株)パルコ調布店
イラスト：松浦素子 墨絵：高橋弘子（敬称略）その他多くの方にご協力を頂いています。ありがとうございます！

“臭い花” ショクダイオオコンニャク

神代植物公園で7月21日から22日にかけて、世界最大級の花で“臭い花”と呼ばれるショクダイオオコンニャクが5年ぶりに開花した。約1畝の花が大きく開いたのは21日の午後11時頃だった。

翌22日に記者はカメラマンと一緒に取材に向かった。公園に着いたのは朝の8時40分過ぎ。もうこの時間で



40分待ちの長蛇の列には驚いた。待つ間に隣りの女性に聞いた。「吉祥寺から自転車に乗って駆け付けました。臭い花として有名ですから一度見たかった」との返事。高さ約1・9メートルの花は、バラ園テラスに置かれていた。近くに来た人は鼻を近か付けて、手で仰いで臭いを嗅いでいる。ここでも女性にこの花の魅力を聞いてみた。「小石川植物園で5年前に開花した時も見に行きました。でも残念ながら臭いはあまりしなかった。今回は5年ぶりに臭さとの再開です。臭いを嗅げて嬉しい」。

この日の入場者は1日で7847人。

“臭い花”恐るべしである。(大泉洋一)

神代植物公園 8月の行事

植物公園で小笠原の自然を感じよう！

◆世界遺産 小笠原諸島の自然とラン写真展

・日時：8月4日(火)～8月16日(日)

・場所：植物会館展示室

・展示時間：9:30～16:30

◆夏休みクイズラリー

生きた化石を探せ！

・受付：正門、深大寺門

・時間：9:30～15:00

・対象：小学生と同伴者

・*参加者には記念品が有ります

■問合せ先 神代植物公園 ☎ 042-483-2300

植物多様性センターからのお知らせ

◆講演会 東京らしい草原の姿とは

・日時：8月29日(土) 講演会13:30～15時

・意見交換会 15:00～15:30

・定員：先着60名(定員に満たない場合当日受付あり)

・講師：根本正之 (東京大学大学院付属生態調和農学機構 特任研究員)

・費用：無料

・申し込み：窓口および電話にて

■問合せ先 植物多様性センター ☎ 042-485-1210



2015年8月 番組表

<調布市民放送局の番組を見ることができます>



◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」

調布 C A T C H J:com 111chにて1日2回放送 (放送日時の変更あり)

月	火	水	木	金	土	日
8:55 18:55	8:55 18:55	8:55 18:55	8:55 18:55	8:55 18:55	8:25 18:55	8:25 18:55

テレビ番組

1日	①調布市民の歌「わが町調布」をご存知ですか？ 毎日、防災行政無線から放送されているメロディをご存知ですか。調布市民の歌「わが町調布」はどのようないきさつでできたのでしょうか。「わが町調布」の誕生秘話をお送りします。	
15日	②郷土芸能祭はやし連保存大会: 郷土芸能である「はやし」を保存し、後継者を育成しようと毎年行っています。【わが町調布】今回は、11のはやしに4つの子どものチームが参加し、日頃の練習成果を披露しました。	
16日	①戦後70年平和祈念！「戦時下の調布を知る」: 調布市郷土博物館では、出征兵士、空襲、学童疎開など、戦時中の調布を知るための展示を行っています。その展示品の数々をご覧ください。	
31日	②ちょうふチャリティーウォークの告知:参加費が調布で活動するNPO やボランティア団体への助成金となるスタンプラリー。今年調布市仙川地域の芸術・文化にまつわる場所を巡ります。 ③リトルギャラリー:暮らしを彩るマクラメ 細紐や糸などを手で結び、幾何学的な模様を作る手芸です。色鮮やかに表現した「マクラメの世界」をご堪能ください。	【戦時下の調布】

ラジオ

「調布わくわくステーション」(毎月第2週の金曜日、21時30分～45分) 調布 FM:83.8MHz HPからは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！		
8月14日(金)21時30分～45分	柳澤 勇氏	第11代調布市商工会会長
9年振りにバトンタッチした調布市商工会の第11代目会長。10代までの会長は、会社のオーナーでしたが、初めてのサラリーマン会長の誕生となりました。少年時代の野球の話から、今年の商工会の試みまで伺いました。		
9月11日のゲストは、調布銀座にある男爵亭の2代目店主齊藤幸司さん。齊藤さんの顔がでている調布駅の中にある看板を見た事がありますか？お仕事から音楽、生け花の話まで色々お聞きしました。		

HP

インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。
<http://chofu-catch.or.jp/> (新) <http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブ)
<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック)

調布市民放送局ニュースが手に入ります(順不同)

- ◆図書館(本館、分館)◆たづくり◆公民館◆調布市総合福祉センター◆深大寺◆喫茶サンマロー◆ジェイコムショップ
- ◆調布エフエム◆調布市商工会館◆地域福祉センター◆市民活動支援センター◆調布市郷土博物館◆喫茶店 いの
- ◆中村歯科◆東日本電気電話保守センター◆電気通信大学◆みんなの広場◆天竜◆山口酒店◆野村証券調布支店
- ◆布多天神社◆クッキングハウス◆せんがわ劇場◆デンマーク INN 深大寺◆デンマーク INN 調布◆山田病院◆新鮮屋
- ◆調布市総合体育館◆セブンイレブン調布染地2丁目店◆多摩信用金庫調布北口支店◆ちょこカフェ◆教育会館
- ◆神代植物公園◆神代植物公園植物多様性センター◆ローソン調布布田五丁目店◆麵飯坊無双◆アジアンタイパイ
- ◆調布白菊幼稚園◆男女共同参画推進課◆co-ba chofu◆深大寺そばごちそう門前◆

編集後記:毎日ホントに暑い日の連続で…今年の夏は…この暑さの最中夏の甲子園、高校野球も始まります。気持ちさえシッカリしてれば、熱中症とかにはならないのだろうか? 気合を入れなおして頑張りましょう。
 ★ご意見・ご感想をお待ちしています。⇒ catch@chofu-catch.sakura.ne.jp [編集・発行]NPO 法人調布市民放送局
 〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2階 市民活動支援センター一気付